

もうひとつのほたる観察会



ほたる河川にホタルの幼虫上陸 淡い生命の輝きに参加者も感動

市民参加型の「ホタルの幼虫上陸」観察会として、初めて開催されました。ほたるの森資料館に集まった参加者は、ホタルを刺激しない優しい明かりのランタンを作って、幼虫を放流した市民運動公園内のほたる河川2カ所で観察。温かい雨の中、真っ暗な木橋や水辺で目を凝らして、上陸するホタルの幼虫が放つ小さな光を探しました。

3月23日 | ほたるの森資料館

子どもたちの思いよ届け ウクライナ絵画展



立命館守山高校の生徒が主催 戦禍を避難した子どもたちの作品展

立命館守山高等学校 コネスコ委員会の生徒たちが、ウクライナの子どもたちが描いた作品約55点を紹介する絵画展を開催しました。ロシアのウクライナ侵攻が続く中、隣国ポーランドに避難した子どもたちが絵に託した自由な想いや願いを多くの人に見てもらおうと企画したもので、図書館利用者が足を止めて熱心に鑑賞していました。

3月9日～17日 | 市立図書館

第15回 能面作成教室 生徒作品展



生徒31人による丹精の能面ずらり 作成道具や工程の紹介も

BUNTAI能面作成教室の生徒31人が1年近くをかけて丹念に作成してきた能面作品約60点を、一堂に展示する作品展が開かれました。同教室の初期から作成を続けているベテランから初心者までが手がけた「小面」「蟬丸」など、能舞台を思わせるさまざまな面が並んだほか、能面作りの道具などの紹介もあり、訪れた市民が熱心に鑑賞していました。

3月24日～26日 | 市民ホール 展示室

朝獲れ湖魚の佃煮実演



琵琶湖の恵みと伝統食を継承 新鮮湖魚のおいしさを食卓へ

湖魚のおいしさを知ってもらおうと、もりやま食のまちプロジェクトが主催しました。早朝から列を作って、ぴちぴちと跳ねる朝獲れのコアユやホンモロコなどを買い求める市民の目の前で、漁師が大きな釜でコアユの佃煮調理を実演。買い物客は完成した佃煮を試食したり、佃煮作りのコツを聞いたりしていました。

3月26日 | おうみんち



守山市の人口

令和5年3月31日現在
(前月比)

人口	85,675 (+ 13)
男	42,139 (+ 35)
女	43,536 (- 22)
世帯数	34,624 (+ 126)

サクラサク。4月は新しいコトの始まりだ。学生になる人もいれば、学生から卒業する人もいる。私も節目を迎えて新しいステージに立っている▼広報業務を2年務めてきた今は、自信を持って「広報は楽しい仕事」といえる。好奇心をかき立てられ、多くのことを知り、少しは成長できた実感できる。また、たくさんの人と関わることでできるのも広報業務の魅力の一つだろう。こうやって楽しかったといえるのは、周囲の環境に恵まれていたからに違いない。支えてくれた人たちに感謝▼人に分かりやすく伝えることや、情報を発信する大切さを広報では学んだ。どこにいても必要なスキルだ。ここで学んだことを次のステージでも活かしていきたい。そして、私はこれからも知らない世界をどんどん見ていきたい、と散りゆく桜に上を向く。(お)

